

金沢工大開発

車に取り付け、外国人観光客を対象にした「金沢満喫スタンプリー」を12日から実施する。

開発した学生は、併設する国際高専の7人を含む28人で、大学コンソーシアム石川の「学生による海外誘客チャレンジ事業」選定を受けて取り組んだ。音声の

金沢工大生らの「スマートフォンシミュレーション」は7日までに、衛星利用測位システム（GPS）機能を使い、観光スポットに入ると英語でガイド音声が発せられる自動観光案内装置を開発した。金沢市公共レンタサイクル「まちのり」の自転



まちのりで 金沢英語案内

自転車に装置搭載

英文も学生が考えた。

金沢市此花町の「まちのり」事務局で、ハンドルの下に装置を付けた5台を貸し出す。金沢城公園や兼六園など15カ所にチェックポイントを設け、4カ所のスタンプを集めると景品がもらえる。12、14日、26、27日に実施する。

リーダーの小島夢人さん（工学部4年）は「外国人観光客に自転車で巡る新たな観光スタイルを提案した。金沢の良さを知り、もう一度来たいと思ってもらえればうれしい」と話した。

自転車に取り付ける、英語による自動観光案内装置

（金沢工大提供）